

令和 6 年 6 月 25 日現在

機関番号：12101

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2022～2023

課題番号：22K20180

研究課題名（和文）台湾の長期社会変動と新旧まちづくり（社区营造）の相互作用に関する社会学的研究

研究課題名（英文）Entanglement between long-term social transition and diverse community development in contemporary Taiwan

研究代表者

星 純子（Hoshi, Junko）

茨城大学・人文社会科学部・准教授

研究者番号：40598645

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、台湾の長期的社会変動がもたらす新旧社区营造への多様なアクターの参入を検討した。具体的には地方政治、社区发展协会、学校など多様なアクターとの関係性が前景化したことが明らかになった。くわえて、補助金を出す政府機関の多様化や補助金によるプログラムの日常化により、多様なアクター間の関係性が社区营造の質を規定していったことが明らかになった。また、本研究では社区营造の長期化により、特定の出生コホートが社区营造の萌芽期に社区营造に参入し、特徴的なライフコースを歩んでいることも明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の主要な意義は台湾の社区营造を長期的な視点からとらえたことであり、主に二つの側面がある。一つは台湾の社区营造（まちづくり）をライフコース論と結びつけ、特定のコホートが社区营造を集中的に担っており、彼（女）のライフコースと社区营造自体の発展が結びついていることを明らかにした。もう一つは社区营造が長期化の中で多様なアクターと結びつくことで、政治学（地方政治、社区发展协会）や教育社会学（学校）との関連が生まれる可能性を示したことである。これらのアクターも補助金の申請主体となり、社区营造団体と提携することで、政府の一元的な統治を多様な政府補助金によって回避したり、新たな方法論を可能にした。

研究成果の概要（英文）：This project examines the interaction between long-term social transition and diversification of community development actors, such as local politics, community development association and schools. Normalization of diverse government funding associated community development with these new actors, creating new network in local society in Taiwan. This project also found out that the specific cohort joined the community development in their young age, building their career over two decades.

研究分野：社会学、地域研究

キーワード：台湾 地域研究 社区营造 まちづくり ガバナンス ライフコース

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

現代台湾の政府補助金によるまちづくり（社区营造）は、1960年代の戒厳令下のインフラ整備に端を発する社区発展と、民主化後の1990年代半ばに台湾文化の実体化を目的として策定された社区総体营造の流れがある。前者は地方政治の延長、後者は社会運動が担い手となったが、政策目標は形を変えつつ、政府からの補助金を民間が主体的に申請するという制度は維持しながら今日まで併存し、ときに総称して社区营造と呼ばれる。しかし、この10年間の起業スタートアップ支援や2019年の地方創生に代表される新自由主義的な補助金プログラムも出現している。これらのいわば起業志向の新しい社区营造と旧来のそれとの間には事業の方向だけでなく担い手の年齢層にも差がある。

新しく出現した起業志向の社区营造は、新自由主義的であると批判され、現代国家の世界的な潮流の例外ではなく、安上がり統治を支えているというパラドックスがあるのも事実である。しかし、台湾の地域的文脈においては、旧来の補助金行政の弊害を克服するためのものでもあり、一面的な批判では若い世代がなぜ起業しながら必死に地域社会で自分の社会貢献を模索する姿は隠れてしまう。

本研究はこれらの新旧社区营造の関係性を世代差、事業の方向性の違い、地域社会における位置づけから研究するために始まった。

2. 研究の目的

本研究は、台湾におけるまちづくり（社区総体营造、後に社区营造と改称）の開始以来30年にわたる長期的変化、および新しい社区营造との相互作用を論じるものである。ここでいうまちづくりは、住民が生活の質や収入の向上、文化の実体化などのために主に政府補助金を用いて自発的かつ継続的に行う取り組みである。

本研究の目的は主に二点である。第一に、異なる出生年代（コーホート）の新旧社区营造従事者がどのような関係性を持つのか、社区营造と家族社会学のライフコース論や人類学の宗族研究との連続を検討することである。第二に、起業型社区营造が出現した現在、社区营造の記述をめぐむ難しさを描き出し、今後の研究可能性を探る。

3. 研究の方法

本研究は、台湾南部の農村である高雄市美濃区において、社区营造が30年間の社会変動によってどのように変化し、またどのように社会を変えたのかを長期的視点で調査した。調査方法は文献調査、インタビュー調査、実地調査のほか、社区营造団体の日常を観察し、ときには講師という形で参加するという参与観察の手法を取った。

4. 研究成果

第一に、異なる出生年代（コーホート）の新旧社区营造従事者は補助金へのアクセス能力の差があったり、互いに申請できる補助金の種類が異なったりするため、両者は基本的に没交渉でいられることが分かった。それに対し、旧来の社区营造の間では、異なる社区营造、社区発展由来の社区発展協会（日本の町内会に類似するが、法人格を持ち助成金の申請などが可能）、地方政治、農会（日本の農協に相当）も含めた連携がさかんに行われており、お互いが異なる申請資格を使って申請した補助金を組み合わせることで事業を行うという緊密な連携が日常化していた。

異なる世代が連携する場合、旧来の社区营造は合法的な「名前貸し」（掛名）や協力関係によってこれを行っている。若い世代への支援は、国家発展委員会による地方創生や青年発展署によるchangemakerプログラムなどに代表される。特に前者は大型の補助金プログラムであり、地方でかなりのネットワークが必要とされるが、若者がそこまで大きなネットワークを短期間に構築することは難しいという政策理念と現実のギャップが存在し、全国的に見てもプログラムの質向上が課題となっている。

そこで旧社区营造従事者が「名前貸し」によって若い世代の名前を合法的に用いて若者用の補助金プログラムを申請し、若者支援を行うことも可能であり、これにより若者を巻き込んだ新たなネットワークを作り出す社区营造も存在する。

第二に、企業型社区营造は従来の補助金行政の反省や、既得権益世代である年長者たちの存在のため、若者の補助金へのアクセス困難から説明されるものであることが分かった。ただ、企業型は完全に新自由主義というものではなく、政府の起業支援プログラムや社区营造へのイベント出店など、多額ではないが何等かの形で政府補助金へのアクセスを保った企業型社区营造も多く存在することが分かった。

これらの成果からは次なる課題が見えてきた。一つは、旧来の社区营造が企業型の社区营造だ

けでなく、社区発展協会、学校、農会、地方政治との連携をも深めており、これらの多様な補助金申請アクターが連携することで、政府の一元的な統治が困難になっていることである。ならば地方にどのようなガバナンスが存在しているのかを研究する必要がある。もう一つは、学校や農会、政治などを扱うことで政治学、農学、教育社会学との連携をますます強める必要があることである。これにより、台湾の社区营造という制度化された社会運動の全貌をより詳細に俯瞰することができる。これらは今後の課題としたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 星純子	4. 巻 6
2. 論文標題 台湾の社区营造（まちづくり）の長期化とライフコースの変遷：『米倉的孩子』（米どころの子ども）を題材に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ENSG	6. 最初と最後の頁 7-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 星純子	4. 巻 53(3)
2. 論文標題 社区营造日常化時代を考える：高雄市美濃区を例に	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 問題と研究	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 2件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 星純子
2. 発表標題 台湾の社区营造（まちづくり）はどのように語られたか：ライフコース論を手掛かりとしたドキュメンタリー「米倉的孩子」（米どころの子ども）の分析
3. 学会等名 エスニック・マイノリティ研究会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 星純子
2. 発表標題 2. 発表標題 Toward understanding complex governance in rural Taiwan: the emergence of diverse Community Development 社区营造間の強い関係性と地方創生の淡いつながり：高雄市美濃区を例に
3. 学会等名 日本台湾学会（招待講演）
4. 発表年 2024年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 浜本篤史、友澤悠季、ほか約80名	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善	5. 総ページ数 742
3. 書名 環境社会学事典	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 中華民国社区营造学会	開催年 2023年～2023年
----------------------	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------